

# 情報リテラシー教育の再考

平成25年度 学術情報リテラシー教育担当者研修  
2013年10月18日

九州大学附属図書館 eリソースサービス室  
天野絵里子



「本講義では、情報リテラシー教育で対象とする教育内容を検討する。近年、ディスカバリーサービスが普及しつつある。情報源を意識することなく、高度な検索技術も必要とすることなく検索でき、情報を入手できる時代において、情報リテラシー教育はいかにあるべきか。大学教育支援を意識しつつ、ツールの紹介や操作説明にとどまらない情報リテラシー教育の今後を考える。」

ディスカバリ・サービス



利用教育の要らないツール  
(たしかにほとんどやっていません)

**研修3日目にしてリテラシー教育不要論？**

本講義の目標：

## リテラシー教育再考の視点

ツールの紹介にとどまらないリテラシー教育

リテラシー教育をワンランクアップ

図書館が埋め込まれるための総合的なデザイン

# ツールの紹介にとどまらない利用教育

検索サービスを題材に

# Myths of リテラシー教育？

- なるべくたくさんの人に受けてもらいたい！  
参加者も回数も多ければ多いほどいい。
- Google世代にも前方一致検索やブーレアン検索のスキルが必要。
- OPACの検索方法、教えたらちゃんと使ってくれてるよね、ね！
- 図書館は価値あるもの。データベースは便利。図書館資料のほうがWikipediaより信頼性が高い。  
効果的な広報で、使ってもらわなくっちゃ！  
図書館に来てもらわなくっちゃ！
- データベースは高価。予算獲得にも苦労した。  
もったいないから利用を増やすために利用教育を！
- リテラシー教育は、大学の中での図書館や図書館員の価値を伝え、存在感を高める手段の一つ。



# 費用対効果 = 効果 / 費用

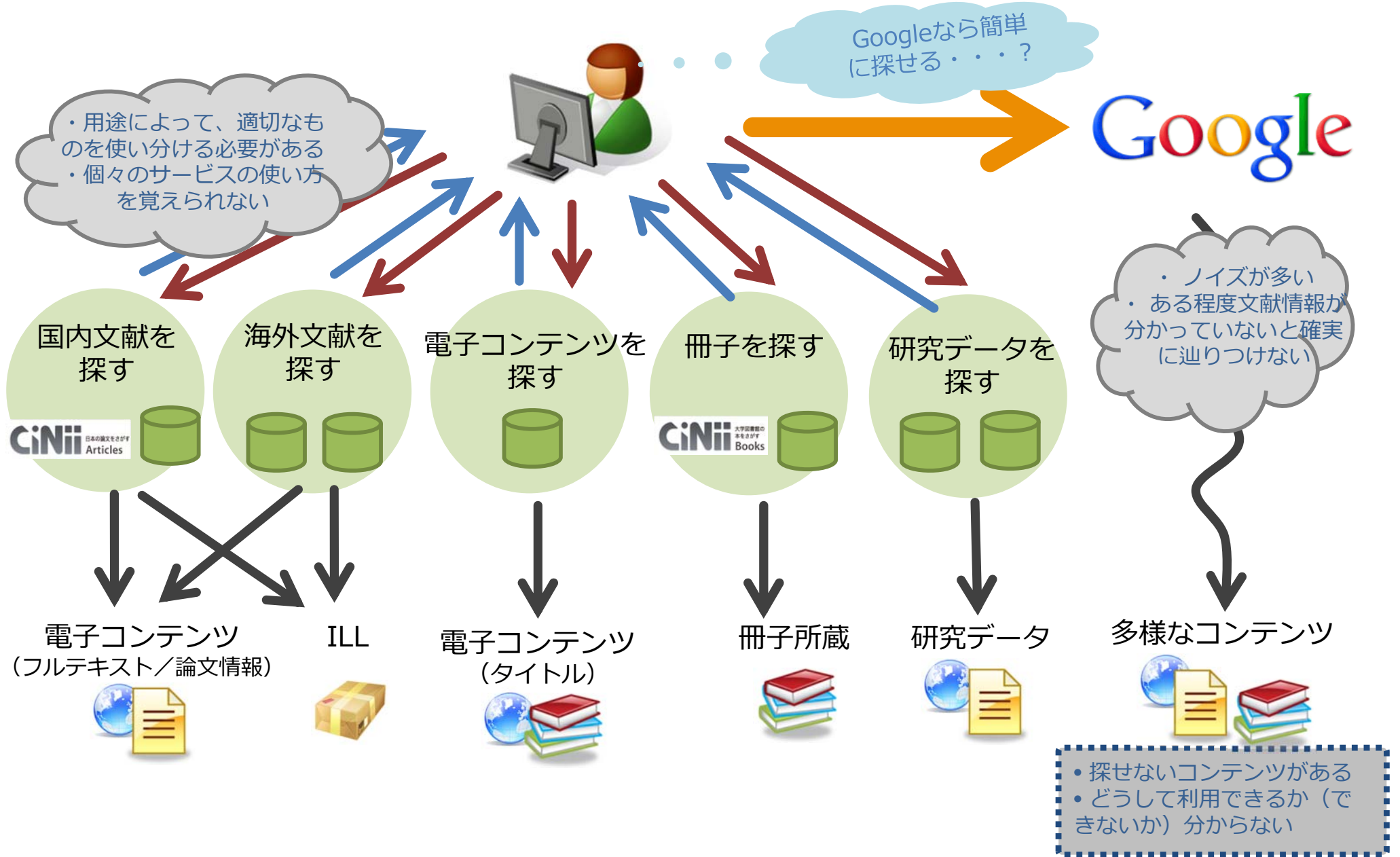
効果

費用

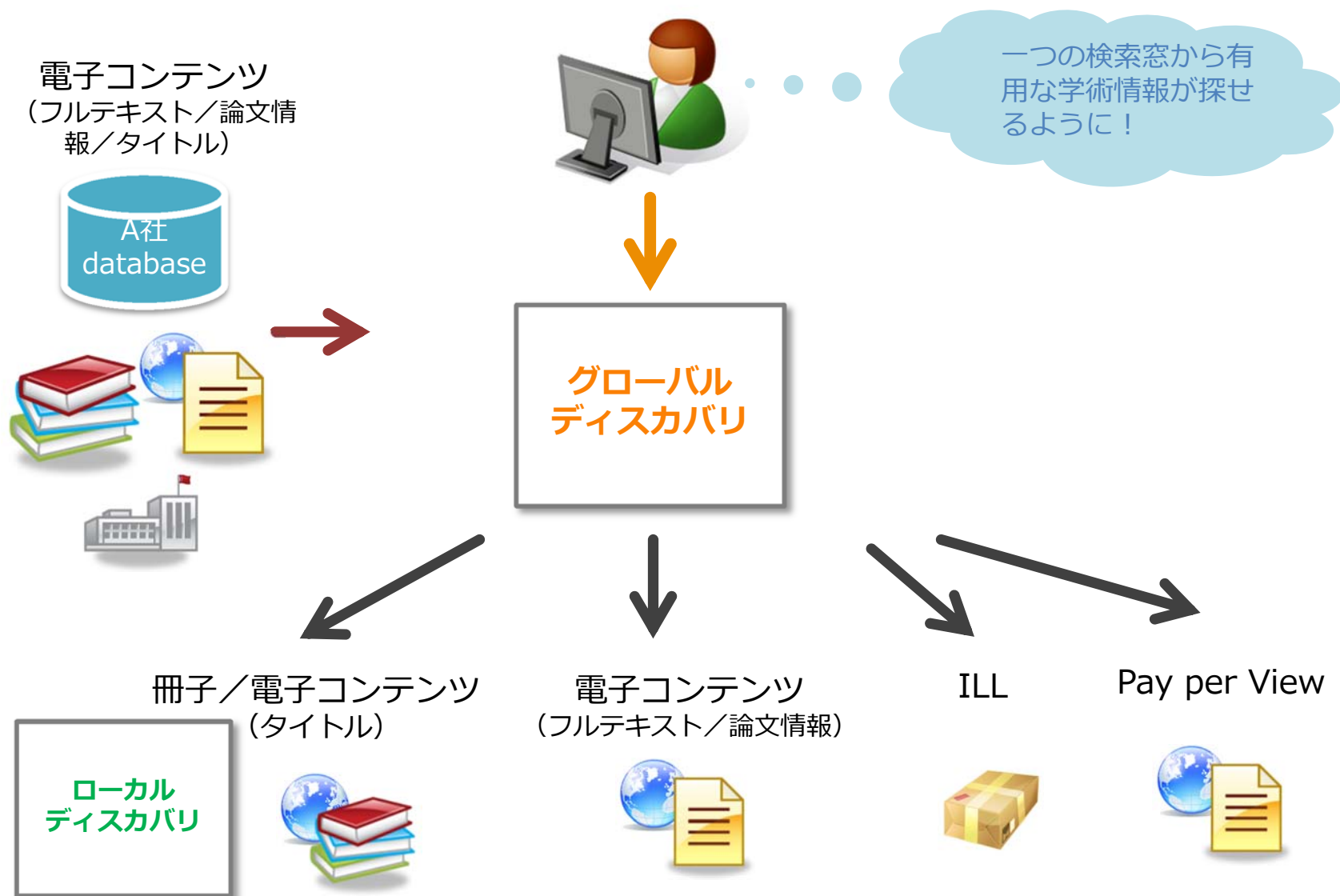
- 利用者
  - スムーズに資料を探せる
  - 図書館利用増加
  - 成績アップ
  - 情報リテラシーの獲得
- 職員
  - 所蔵調査が減る

- 利用者
  - 検索の方法を覚える
- 職員
  - 教材の準備（時間）
  - 資料（紙、印刷時間）
  - 練習
  - 広報

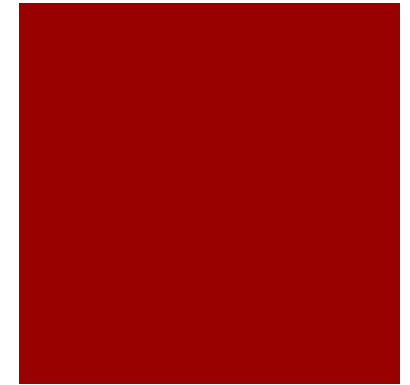
# 今までの検索サービス



# そこでディスカバリ・サービス





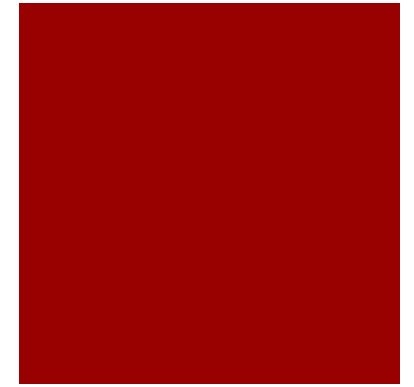


# 学んだこと

- 利用教育ですべてを補おうとしない
  - ディスカバリなど説明の要らない環境づくりや掲示などで利用者の知識は補える
  - ツールの使い方を説明したがるのは図書館員の悪いクセ
  - とはいっても、説明は上手 = 強み
- やるなら効果のあることを
  - 効果の分析が必要
  - ディスカバリに関しては今後の課題
- ディスカバリで利用教育が不必要になるわけではない
  - 職員 ← Summon2.0
  - ファセットによる絞込み
  - フラットな情報からいかに必要なものを選択するか

# リテラシー教育を ワンランクアップ

理論と実践  
ターゲット別講習会の試み



# 九州大学附属図書館 平成24年度 リテラシー教育

- eリソース連携チーム
- データベース利用説明会
  - 60回 674名
- オンデマンド講習会
  - 38回 1,019名
- 大学図書館活用セミナー
  - 新生対象、全学部・希望制 59回 2,489名
  - 初年次教育「コアセミナー」の1コマで実施



# 理論と実践：

## インストラクショナル・デザイン研修

- 理論：ID研修 平成23年度 2回、平成24年度 3回
- 実践：平成24～25年度 大学図書館活用セミナー
  - 目標設定
  - 動機づけ (ARCS理論)
    - 学習サポーター自ら語る
  - クリッカーのトライアル
  - 講師、講師補助の振り返りを記録
  
- 詳しくは 兵藤, 天野, 中園 (2011)

H24年度

上級  
(院生,教員)

PubMed  
応用編

SciFinder

Lexis.com

Web of  
Science

レポート・論文の  
ための文献整理法

医中誌  
Web

LexisNexis  
Academic

Scopus

PubMed  
基本編

専門的

中級  
(学部3,4年生)

一般的  
学際的

レポート・論文のため  
の文献入手法  
(文系・理系・病院)

初級  
(学部1,2年生)

図書館活用  
セミナー

上級  
(院生,教員)

PubMed  
応用編 (病院)

文献の探し方  
【文系向け応用編】  
(箱崎)

文献整理法  
(箱崎・伊都・病院)

SciFinder  
(箱崎・伊都・病院)

文献の探し方  
【理系向け応用編】  
(箱崎・伊都・筑紫)

新入大学院生向け  
文献の探し方  
(箱崎・伊都)

医中誌  
Web  
(病院・大橋)

PubMed  
基本編 (病院)

専門的

中級  
(学部3,4年生)

一般的  
学際的

Cuterが講師  
の講習会  
(案)

Google活用術  
(箱崎・伊都)

オンデマンド講習会  
(全学)

気になるトピックの探し方  
(箱崎・伊都)

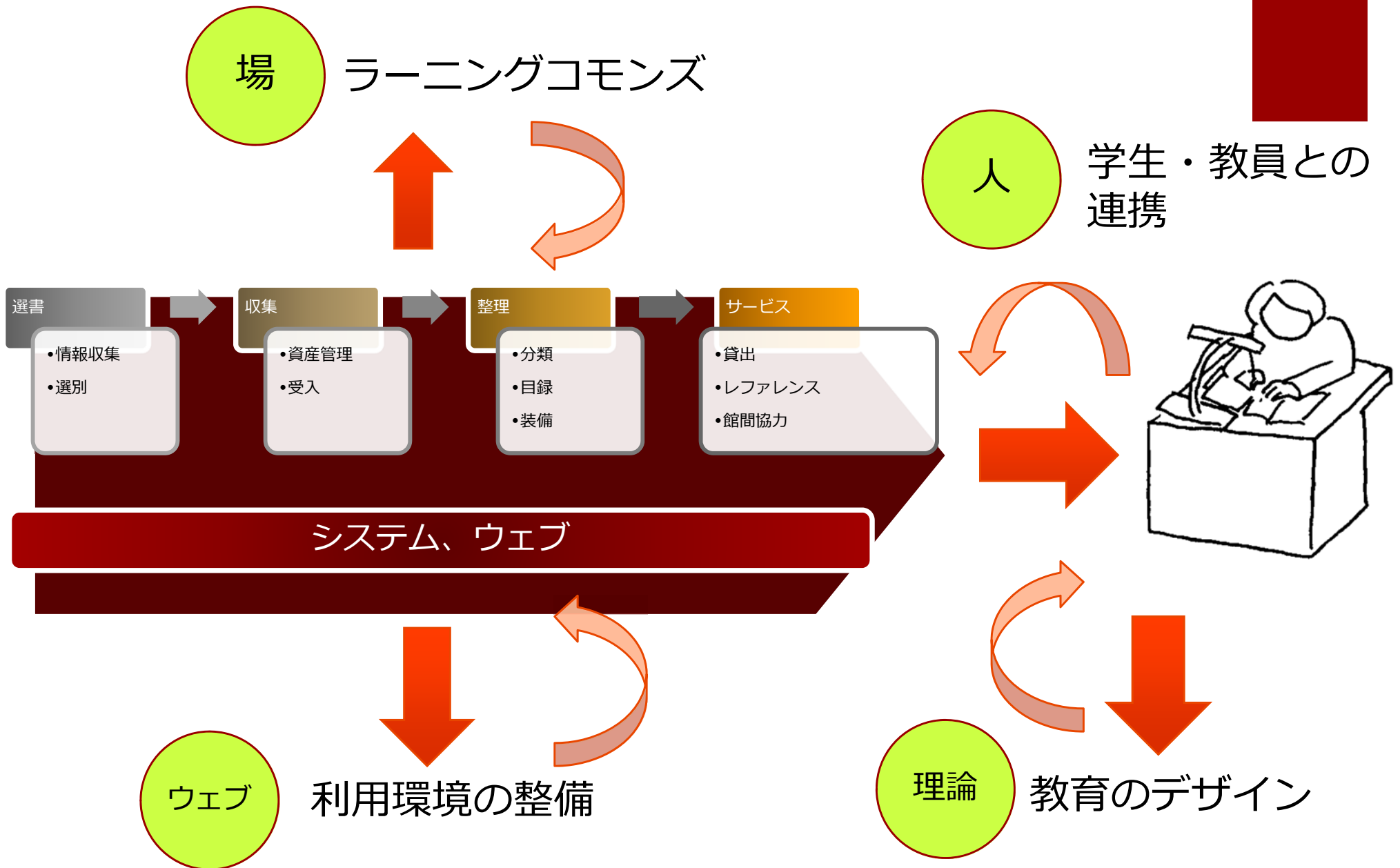
初級  
(学部1,2年生)

図書館活用セミナー  
(全学)

# 図書館が埋め込まれるための 総合的なデザイン

九州大学の場合

# これからの学修支援の方向性





# 九大百年メッセージ

## 九つの目指す姿と行動計画

### 3. アクティブ・ラーナーを 育成する大学

- 生きた学問の体験
- 主体的な知の体系化
- 学修プロセスの重視

### 9. 知の蓄積と継承・発信を 推進する大学

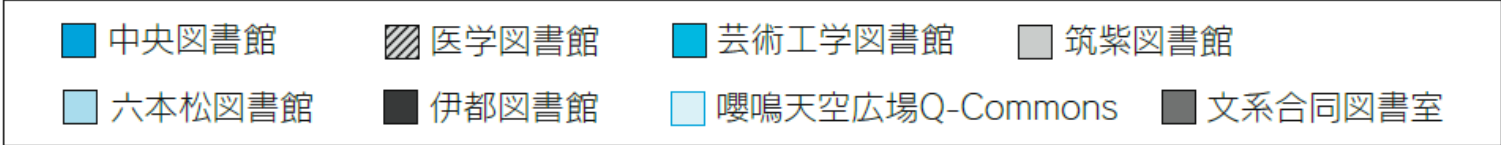
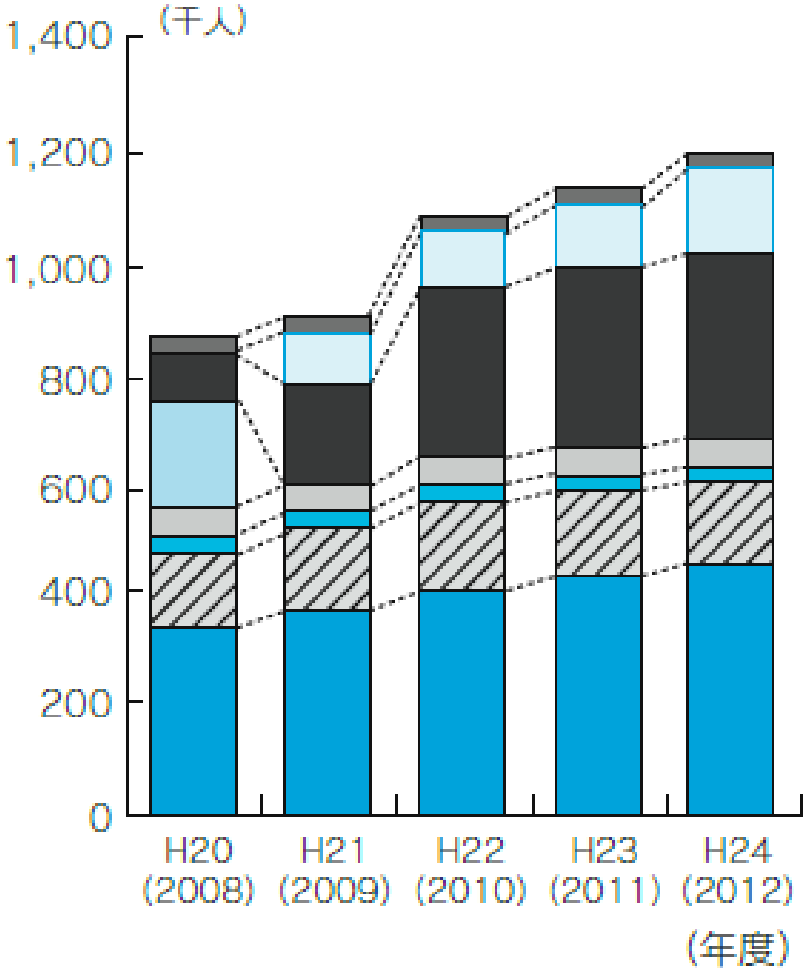
- 学術情報基盤の強化
- 知の体系と活用
- 知の蓄積と発信
- 社会連携の推進
- 卒業生との交流促進と連携強化

教育の質向上支援  
プログラム (EEP)

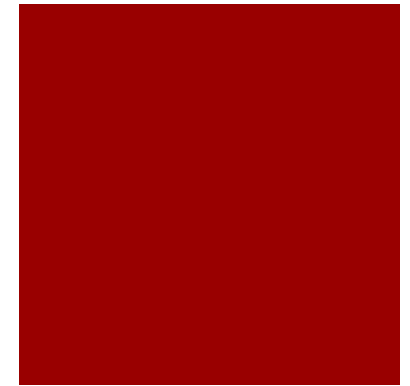


# 場：ラーニング・コモンズ

1. 「こと」が起こる場所  
としての演出
2. あるがままに・・・
  - 僕、私の居場所
3. ニーズに合わせて足す
  - 壁面ホワイトボード



# 人：学生サポーター “Cuter”



1. 初年次ガイダンス（大学図書館活用セミナー）のサポート、ツアーガイド
2. Cute.Guides による教材作成
3. 学習相談カウンター
  - 簡単なレファレンス
  - 科目の勉強
  - パソコン、プリンタ対応
  - 就活、進学、人間関係、恋愛相談・・・
4. 個人の適性・希望に応じイベント、調査など

## 図書館学習サポーター

- 学生の学生による学生のための学修リテラシー向上支援

(図書館資源の活用、ITスキル)

- 専門分野のコミュニケーター
- 学生サポートサービスへのハブ

## 学修支援

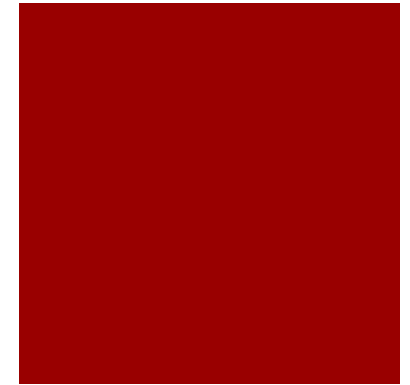
### 図書館職員

- レファレンスサービス
- 講習会
- 「場」の提供
- 基幹教育への参画
- 学術情報資源の整備

### 学生サポーター

- 科目に密着した支援
- 理解を補助する

# 人：教員、授業との連携



「よむ・つたえる」-初年次学生向け授業の提案-

## ■ 目的

- 学生の読む力・伝える力の向上、視野視点・興味関心の拡大、コミュニケーションの活性化、読書推進・図書館活用促進
- 下記手法による授業の有効性の検証

## ■ 手法

- 初年次学生を対象に
- ビブリオバトル/新聞記事バトルの実施
- 新聞を活用したディスカッション
- 「書くプロ」による講義・セミナー
- 公開授業として講演会の開催

## ■ 実施体制

- 全学教育担当教員と活字文化推進会議事務局、附属図書館の連携により実施。  
\* 図書館は、利用支援課サービス企画係と研究開発室「教育との連携に関する調査研究」班

# 授業でのビブリオバトル



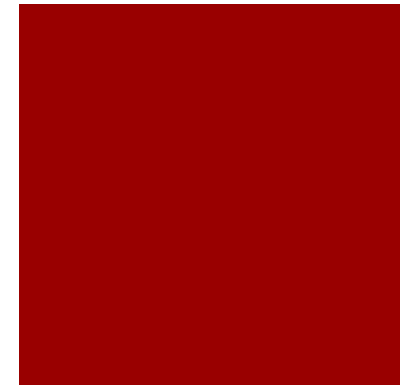
- 21世紀プログラム、法学部、農学部のコアセミナー各1クラスで実施
  - 21世紀プログラム（1クラス28名）
    - 練習試合＋トーナメント＋決勝戦 計6回
    - 練習試合で紹介した本のポップを作成→喫鳴天空広場・中央図書館で展示
    - トーナメントの様子が新聞記事で紹介される
  - 法学部（1クラス15名）
    - 政治学・法学の古典・名著を紹介（第8回目の授業で）
  - 農学部（1クラス14名）
    - 導入編（テーマ：世界）＋実践編 計3回
    - 実践編は中央図書館きゅうとコモンズにて
- 2012年度の実践は、副島他(2013)を参照

# ウェブ：最近の課題



- Discovery to delivery
  - 発見したら入手したい
    - 「ぜんぶ読めるんですよね？」
    - 入手コストはかけたくない
- Just-in-time
  - 必要な時に必要なものを届ける
  - 利用者の多様性についていく

# ウェブサイト

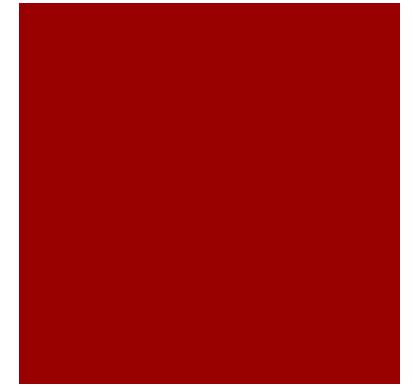


- 機能を提供
- 自然な流れで資源やサービスにアクセスできる
- 検索指導をしなくても資源を発見できる

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>

- 2013年3月リニューアル
  - 利用の種類に応じた構成：ウェブ環境での利用・来館利用・パーソナライゼーション
  - 認証を組み込む←自然なリモートアクセス



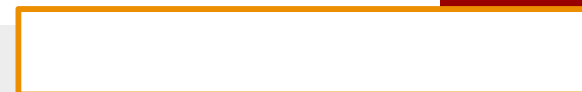


# Cute.Guides

<http://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/>

- コンテンツを提供
  - ニッチでもいい
  - 中の人 の価値を伝える
- ニーズに即応

# 利用者中心に





## 参考 (1)

- 兵藤 健志, 天野 絵里子, 中園 晴貴. 大学図書館活用セミナーをリデザインする：インストラクショナル・デザインを意識した図書館ガイダンスの取り組み. 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2012, vol. 2011, p. 24-31.  
<http://hdl.handle.net/2324/24952>
- 鎌田均. 「エンベディッド・ライブラリアン」：図書館サービスモデルの米国における動向. カレントアウェアネス. 2011, (309), CA1751, p. 6-9.  
<http://current.ndl.go.jp/ca1751>
- 副島雄児他. 本を通して仲間を知る：コアセミナーでの試み. 九州大学研究開発室年報. 2013, vol. 2013, p. 34-43.  
<http://hdl.handle.net/2324/27254>



## 参考 (2)

- Asagao-ML
  - <http://kyoto-u.s-coop.net/asagao/>
  - 京都大学高等教育研究開発推進センター
  - 高等教育に関するイベント
- 熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授システム学専攻
  - IDポータル
  - <http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/>
- 京都FD開発センター
  - FDハンドブック
  - <http://www.kyoto-fd.jp/handbook/index.html>
- 名古屋大学高等教育研究センター
  - 教授・学習サポートツール
  - <http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/support/>
- 学生協働まっぷ  
<http://dl.dropboxusercontent.com/u/15665405/map/index.html>  
(期間限定)